

# 小さな声が街を変える 第32号 2020年春

## 武井誠活動報告

武井誠を励ます会 〒350-0253 坂戸市北大塚 40 ☎289-2527

<https://www.takei-makoto.org/> E-mail [takei@sakado-gr.org](mailto:takei@sakado-gr.org)



武井誠

3期12年間の議員経験を活かし、市民みなさまとともに、さらに力を尽くします。

戸市を！

東日本大震災・原発事故ののち、武井誠は「命を大切にす」政治への転換を改めて決意し、皆様と全力で取り組んできました。これからの4年間で大きく時代が動く予感があります。

私たちが大きな困難に直面しています。10%への消費増税、台風第19号の被害に追い打ちをかけてるような新型コロナウイルスの感染拡大。現政権による不祥事の隠蔽や対応の遅れ。世界的不況の到来。私たち市民の生活、生存が脅かされています。

## 私の決意

## 坂戸の未来創造は市民総参加で

寸刻を惜しんで、一人でも多くの方のお話を聴く努力を重ねてきました。その中でつかんだ坂戸市が今すぐに取り組むべき優先課題は、

- 地震、台風、感染症などの大規模災害対策
- 増え続ける高齢者の孤独、貧困対策
- 統廃合をふくむ公共施設等の老朽化対策
- 経済格差対策・特に子どもの学習権保障

であると感じました。



行政の行き届かないところで苦しみ、悩んでおられる方とたくさんお会いする一方、様々な

分野の「街づくり」について、素晴らしい知恵と力をお持ちの方との出会いもありました。12年間の議員生活でいただいた最も大切な「宝物」であると感じています。武井誠はここに依拠して議員活動を行います。例えば現在進行中の北坂戸駅周辺の拠点整備事業などについても、十分な情報公開と市民の参加・参画を求めます。



ルイ・アラゴンの言葉「学ぶとは心に誠実を刻むこと。教えるとはともに希望を語ること」これが教員時代からの私の座右の銘です。

## 私たちも武井誠さんを推薦します

白石俊夫（後援会長：元坂戸市議）田中昭子（三光町：元坂戸市議）花田勝夫（北大塚：地元後援会長）小笠原崇（連合埼玉川越・西入間地協議長）間仁田香代（塚越）玉之内明德（北大塚）野口巳義（北大塚）安田佳子（北大塚）池辺悠子（伊豆の山）須藤祐子（塚越）高比良伶子（につきい花みず木）中澤正治（につきい花みず木）倉富嘉幸（溝端町）服部富雄（西坂戸）越川求（関間）佐藤公子（千代田）依田彦三郎（県環境アドバイザー：清水町）田中重仁（弁護士）林真由美（日の出町：弁護士）福島みずほ（社民党党首：参議院議員）

## 無料法律・市民生活相談

開設13年、多くの市民皆様にご利用をいただいています。

今回は、4月25日（土）13時

会場は、坂戸市文化施設オルモ

法律相談：河内裕介 弁護士

年金相談：石川 博 社労士

税務相談：柳原 誠 税理士

家庭相談：宮崎 さち

心理カウンセラー

※予約された方を優先させていただきます。

# 2020 年度予算は 299 億 9500 万

3月19日、坂戸市議会3月定例会は、執行部の提案した全議案を可決して閉会しました。

2020年度予算は299億9500万円、前年度比2.4%の減です。また基金残高（市の貯金）が28億3600万円となり4年前に比べて半減しました。

今後の動きを注視する必要があります。

特に北坂戸中学校跡地売却によって得た17億円の「教育・子ども基金」は6年間でなくなりました。学校等の教育環境整備は進みましたが、今後、北坂戸小学校跡地利用等について、市の財産を売ったお金は案外早く使い切ってしまうのだということも教訓とすべきではないでしょうか。

## 新規事業等に注目すると

各児童センターに防犯カメラを設置、葉酸プロジェクト参加者に効果検証血液検査サービス、ロタウイルス予防接種実施、「水のう（洪水対策として土のうの機能をもつ）」の購入・整備、子どもの貧困対策として学習支援教室を3か所設置、小学校にも「さわやか相談室」を設置、中学生の学力テストに志望校判定を追加、市役所窓口や学校などに多言語音声翻訳機を導入、市民バスの所在地がスマホでわかるバスロケーションシステムを導入、環境学館いずみでの「はちみつ」販売などが新たな事業として加わりました。

また、国の政策として、消費活性化と個人番号カード普及のためマイナーポイント制度（私は愚策であると思います）の予算も組まれています。

## 武井誠 HP コロナウイルス情報特設リンク開設

武井誠は13年間、ホームページをほぼ毎日更新し、活動をお知らせしてきました。

新型コロナウイルスの感染拡大と突然の全国一律一斉休校を受けて特設リンクを開設しました。坂戸市をはじめとする行政の状況、市民みなさんからのご意見、ご質問、武井誠の主張などを、随時アップしています。アクセスしていただければ幸いです。

「武井誠」と入力し、**検索**をクリックしてください。

## 武井 誠 の 質 疑 から

本会議や所属する市民福祉常任委員会では、**障害のある方のためのグループホーム整備、学校コンピューター整備事業、交通安全指導員の欠員、第8期高齢者福祉計画、公民館の地域交流センター化、民生委員の待遇改善と負担の軽減、文化会館と文化施設オルモの老朽化対策**などについて質疑し市民要望の反映とさらなる改善を求めました。

特に今後、学校教育で急速に進むICT教育（ギガスクール構想）について、その必要性は理解するが、コンピューター等の維持管理・更新にかかわる市の財政負担、子どもの心身への影響、教職員の負担増などについて細心の注意を払うべきであると指摘しました。

## 全議員が一般質問取り下げ

3月6日の議員全員協議会で市政一般質問を予定していた全議員が、通告を取り下げることを選択しました。

新型コロナウイルス対策に集中しなければならない執行部を長時間拘束しないというのがその理由です。通告議員の一人である私は、一般質問の重要性を考えてこれに反対でしたが、会派代表者会議で私以外の全議員（会派）の意見が一致しているとのことで、執行部の負担も考慮し、決定に従いました。

Takei Makoto Home Page [ホーム](#) [活動日記](#) [活動予定](#) [プロフィール](#) [お問い合わせ](#)

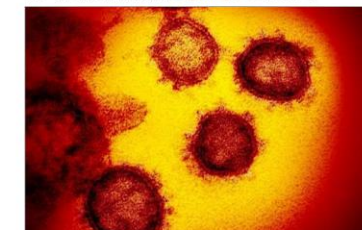
武井誠 坂戸市民運動レポート

小さな声が街を変える 変えあいたいにも生きる いのちを大切に作る街づくり 武井誠 坂戸市

ホーム > 新型コロナウイルス情報

新型コロナウイルス情報

武井活動日記に掲載した新型コロナウイルスにかかわる記事をもとめて紹介しています。坂戸市役所発信情報は、[こちら](#)からご覧ください。



写真：米国アレルギークンセンタリ研究所  
以下のリンクから開いたページからこのページに戻るには、ブラウザの戻るボタンをクリック(クック)してください。